

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991600071	
法人名	株式会社 奉伸	
事業所名	アルプスのなかまたち	
所在地	山梨県南アルプス市桃園345-3	
自己評価作成日	令和2年12月30日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和3年3月16日(火)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「奉仕して伸ばす新しい介護」をスローガンに目標を立てて運営しております。利用者様が中心となり1日の活動に取り組むことで、役割を持った生活の実現や、認知症になってからも生き甲斐の持てる生活が出来る様に職員一同頑張っております。1日の家事(野菜の皮むきや、お茶碗拭きなど)の他、体操やアクティビティ、お散歩など体を動かすこと、皆で話をすること、頭を使うことなど取り組んでいます。そのため、1日の充実した生活が出来ていると思います。また、とても話し声や笑い声、笑顔が多い施設です。個々の利用者様の能力や好きな事を見極め引き出していく個別介護に力を入れていて、それによって利用者様の自信がつくことで介護予防に繋がる介護を目指しております。またコロナウイルス感染防止の最大限の努力をしながらも、ご利用者様が退屈にならないように毎月施設内のイベントの開催やご家族との関わり維持に力を入れております。利用者様が自宅と変わらない生活ができる家庭的な雰囲気の中ででの暮らしの継続に、仲間と色々な取り組みができ、楽しく生活できる施設です。利用者様の体調管理の為に介護ロボットも導入しました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は南アルプス市の県道沿いにあり、周辺には病院、ショッピングセンター、商店街、住宅等がある利便性が高い場所にある。木造平屋建て2ユニットの造りで駐車場は広く、木製のフェンスには季節の花が植えこんであり家庭的な雰囲気がある。家庭菜園の野菜は食材として活用し、利用者と献立を考えながら食事を手作りしている。事業所理念として「入居者が人生の先輩であることを忘れず一人一人を尊重します。人に対する思いやりの心を持ちその人らしさをもっと日に日々の生活を支えます。入居者の生きがいを見つけ手助けする目を養います。ご家族や地域との絆を大切に安心して暮らせるよう生活を支えます。」の4つを掲げ、利用者一人ひとりの介護計画に反映するように管理者をはじめ全職員が共有し、利用者を中心としたケアを実践している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通い場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている 現状は(参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように(コロナ禍以前) 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている 現状は(参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が(コロナ禍以前) 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **アルプスのなかまたち**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、施設内の常に見える場所に貼って、個々の利用者様が役割を持って過ごせるよう援助が出来ると思っています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員と一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、施設内の常に見える場所に貼って、個々の利用者様が役割を持って過ごせるよう援助が出来ると思っています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員と一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	事業所理念として4つの項目を掲げ、事業所内に掲示し常に意識しながらケアに繋げている。また、月1回実施している職員会議では個人介護記録等を基に利用者一人ひとりの思いがケアプランに反映され、生活の中で実践されているか協議し、職員間で共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	市内の方による月一回のイベント、近所へお散歩、お庭を見せていただく、お饅頭屋で一休みするなど地域の方とお話をしたり地域の一員として暮らしていると考えています。ホームの花壇にはご近所様がお花や外灯を寄付して下さったり草取りをして下さったりして綺麗にしてくださっています。自治会にも加入し事業所の入り口に地域の地図も取り付けさせていただきました。非常時の協力もお願いしています。	市内の方による月一回のイベント、近所へお散歩、お庭を見せていただく、お饅頭屋で一休みするなど地域の方とお話をしたり地域の一員として暮らしていると考えています。ホームの花壇にはご近所様がお花や外灯を寄付して下さったり草取りをして下さったりして綺麗にしてくださっています。自治会にも加入し事業所の入り口に地域の地図も取り付けさせていただきました。非常時の協力もお願いしています。	月1回は地域の方による踊りや歌等のイベントに参加したり、近所の商店で買い物をし、住民の方との交流を楽しんでいる。事業所の花壇に花を植えたり草取りしてくれる方やメダカや金魚の飼育の様子を見せてくれる方もいて良い関係を築いている。コロナ禍でイベントは中断しているが自治会に加入し地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	通常は地域の認知症を抱えた在宅の方や地域の高齢者に対して月一回のイベントのお誘いをし参加していただいたり、施設内で取り組んでいる対応などを民生委員の方を通じて地域に発信したりしている。地域の方々の歌や寸劇やダンスなどの披露の場として提供させていただいておりましたが、コロナウイルスが流行してからは交流なく、施設内で職員がイベントを毎月開催して楽しんでいます。	通常は地域の認知症を抱えた在宅の方や地域の高齢者に対して月一回のイベントのお誘いをし参加していただいたり、施設内で取り組んでいる対応などを民生委員の方を通じて地域に発信したりしている。地域の方々の歌や寸劇やダンスなどの披露の場として提供させていただいておりましたが、コロナウイルスが流行してからは交流なく、施設内で職員がイベントを毎月開催して楽しんでいます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	施設で起きている問題を運営推進会議の都度、積極的に意見交換及び改善の報告が来ています。施設内で好評した対応策を民生員様が地域に戻り個々の家庭を訪問した際のアドバイスに役立てていただければと考えています。また身体拘束委員会も兼ねて開催しています。入居者や退去者の内容や、施設内の問題をどう解決したか、地域とどのように協力し合い繋がっていくかを毎回話し合っています。	施設で起きている問題を運営推進会議の都度、積極的に意見交換及び改善の報告が来ています。施設内で好評した対応策を民生員様が地域に戻り個々の家庭を訪問した際のアドバイスに役立てていただければと考えています。また身体拘束委員会も兼ねて開催しています。入居者や退去者の内容や、施設内の問題をどう解決したか、地域とどのように協力し合い繋がっていくかを毎回話し合っています。	2か月に1回開催し、身体拘束委員会も同時に実施している。コロナ禍で6回のうち3回は書面による報告にしている。事業所の利用状況や利用者の状況を報告する他、認知症の理解を深める取り組みとして症状が改善された事例を報告し、出席者と意見交換している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換しながら、施設内で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告し、意見を仰ぎ、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策などを考えています。また、施設内で起きた特別な事例は、市役所の介護福祉課の方へ連絡し報告しております。	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換しながら、施設内で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告し、意見を仰ぎ、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策などを考えています。また、施設内で起きた特別な事例は、市役所の介護福祉課の方へ連絡し報告しております。	運営推進会議の内容を報告している。事業所内の状況について相談や助言を受け、対応した事例がある時はその後の経過も継続的に報告している。市内の認知症を抱えた本人や家族についても協議し、支援や対応について意見交換している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行えています。最近では、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。玄関も施錠は夜間の防犯対策として以外はしていません。身体拘束の研修も施設内で約3ヶ月ごとに開催しています。施設外の研修の参加もしています。	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行えています。最近では、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。玄関も施錠は夜間の防犯対策として以外はしていません。身体拘束の研修も施設内で約3ヶ月ごとに開催しています。施設外の研修の参加もしています。	職員会議では身体拘束やスピーチロックについて意見交換し、「だめな言葉一覽」等を使い確認している。管理者をはじめ職員同士でも互いに注意し合い連携している。拘束0に向けて介護ロボットを使用し、布団の下に敷くことで使用者のバイタルチェックや危険に繋がるような動作を把握し、転倒防止等を未然に防いでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないよう注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修が多く、その他も研修に参加した際にも報告書として開示する様にしています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも職員同士が細心の注意を払って虐待防止に努めています。	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修が多く、その他も研修に参加した際にも報告書として開示する様にしています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも職員同士が細心の注意を払って虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、新しい職員にも理解できるように職員会議で概要を話したりしています。	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、新しい職員にも理解できるように職員会議で概要を話したりしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に職員と利用者様のご家族とで一緒に契約書と重要事項説明書を読んで、十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、質疑応答をしていくなかで理解納得を得ていると考えています。今迄、契約に関しては、特に問題になることはありませんでしたが、今後、該当する事項が発生した際には、再度ご家族に説明を行いながら納得していただけるように対応します。	契約時に職員と利用者様のご家族とで一緒に契約書と重要事項説明書を読んで、十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、質疑応答をしていくなかで理解納得を得ていると考えています。今迄、契約に関しては、特に問題になることはありませんでしたが、今後、該当する事項が発生した際には、再度ご家族に説明を行いながら納得していただけるように対応します。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **アルプスのなかまたち**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けても、そこへの投稿は今までありませんが、直接、ご家族が来所の際に良く話す事で会話の中から引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するとともに、意見に対して取った行動を後日必ずお伝えするようにしています。	意見箱を設けても、そこへの投稿は今までありませんが、直接、ご家族が来所の際に良く話す事で会話の中から引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するとともに、意見に対して取った行動を後日必ずお伝えするようにしています。	意見箱を設置している。家族が面会や行事などで来所する際には会話をとおして意向を把握したり直接意見を聴くようにしている。日常的に要望や意見を聴く場合もあり、その都度対応している。出された意見は職員会議で協議し対応した内容は後日必ずフィードバックしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が代表者や管理者に日常的に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにしています。特に、職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見ができるような関係にあります。また、月に1、2回開催される代表者と管理者が出席する職員会議の場でも職員との意見交換を活発に行っています。	職員が代表者や管理者に日常的に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにしています。特に、職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見ができるような関係にあります。また、月に1、2回開催される代表者と管理者が出席する職員会議の場でも職員との意見交換を活発に行っています。	職員が代表者や管理者と話し易い環境づくりをし、日常的に管理者と話す機会が多い。出された意見や要望については職員会議で協議しているが、個人的な内容であれば個別に時間を取って対応している。職員研修を有給で受けられるように取り組み参加者が増えた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績を考慮し、昨年度から取り入れたキャリアアップ表に照らし合わせ給料に反映しています。労働時間に無理が無いようにし、役割を持つ事でやりがい失われぬ様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員皆が助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境で運営出来ています。毎月の行事担当や担当の利用者様を持つことでやりがいももてる様になっています。	代表者は職員の努力や実績を考慮し、昨年度から取り入れたキャリアアップ表に照らし合わせ給料に反映しています。労働時間に無理が無いようにし、役割を持つ事でやりがい失われぬ様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員皆が助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境で運営出来ています。毎月の行事担当や担当の利用者様を持つことでやりがいももてる様になっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にも理解があり積極的で、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成してます。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。施設内での勉強会も今までより沢山開催していく予定です。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にも理解があり積極的で、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成してます。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。施設内での勉強会も今までより沢山開催していく予定です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受けることにも理解があり積極的で、職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組み出来る限りしています。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受けることにも理解があり積極的で、職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組み出来る限りしています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に本人とご家族の要望を重視するようにしています。訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所作りにも努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。	常に本人とご家族の要望を重視するようにしています。訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所作りにも努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに摺合せ、サービスの提案をしています。また、入居後でも積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化と一緒に見守れる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに摺合せ、サービスの提案をしています。また、入居後でも積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化と一緒に見守れる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、摺り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応など、入居者やご家族の個々の要望に応じる努力を行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、摺り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応など、入居者やご家族の個々の要望に応じる努力を行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活で、利用者の方々が残存機能により出来る事は出来る限り行えるよう職員がサポートをし提供しています。また利用者の方々の出来ない所を職員がお手伝いする事で「ありがとう」の言葉が施設内に飛び交っています。洗濯物を畳む、食事の支度や片付けの手伝い、掃除など皆様積極的に手伝って下さいます。「利用者様と職員は家族」という経営理念の一つを職員は常に守るように心掛けています。	日常生活で、利用者の方々が残存機能により出来る事は出来る限り行えるよう職員がサポートをし提供しています。また利用者の方々の出来ない所を職員がお手伝いする事で「ありがとう」の言葉が施設内に飛び交っています。洗濯物を畳む、食事の支度や片付けの手伝い、掃除など皆様積極的に手伝って下さいます。「利用者様と職員は家族」という経営理念の一つを職員は常に守るように心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **アルプスのなかまたち**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設での出来事や日常の様子をご家族の面会時や月一回の「アルプスのなかまたち便り」内での各々の担当職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう勤めています。また、ご家族に無理のない程度に協力を仰ぎ、ご本人のニーズ対応や病院受診をしていただく事でご家族と一体になってのケアを実現しています。体調の変化に対しても常に連絡し、ご家族と利用者様の絆を大切にしております。	施設での出来事や日常の様子をご家族の面会時や月一回の「アルプスのなかまたち便り」内での各々の担当職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう勤めています。また、ご家族に無理のない程度に協力を仰ぎ、ご本人のニーズ対応や病院受診をしていただく事でご家族と一体になってのケアを実現しています。体調の変化に対しても常に連絡し、ご家族と利用者様の絆を大切にしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	誰でも来所しやすい施設になるよう施設内の雰囲気や気を付けています。結果、コロナ流行以前はご友人や近所の方が良く面会に来られる利用者様が沢山で、とても来客の多い施設です。来客の方には利用者様と一緒にお茶を飲んで頂くようにしています。ご家族との関係が悪くなり入居となった方には、ご本人とご家族との関係改善に施設側が間に入り勤め改善をします。馴染みの理容室に行く方もいます。	誰でも来所しやすい施設になるよう施設内の雰囲気や気を付けています。結果、コロナ流行以前はご友人や近所の方が良く面会に来られる利用者様が沢山で、とても来客の多い施設です。来客の方には利用者様と一緒にお茶を飲んで頂くようにしています。ご家族との関係が悪くなり入居となった方には、ご本人とご家族との関係改善に施設側が間に入り勤め改善をします。馴染みの理容室に行く方もいます。	家族や知人等が来所し易い雰囲気に配慮している。家族だけでなく友人や近所の方の来訪も多く、お茶を出して和やかに過ごすことが利用者の楽しみであったが、コロナ禍で面会自粛になり直接の面会は出来ない状況である。玄関先でガラス越しに面会し、会話は電話を使うこともある。また、毎月施設便りを発行して近況報告をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時には小さな喧嘩もありますが、自室に籠もり過ごされる方は一人もおらず、自分から望んでティールームで他者と過ごすことを楽しんでいるようです。耳の悪い方や認知症が重い方もいますが、職員が仲介役となり皆様の輪の中で過ごせるよう援助していますので、仲良く過ごせています。日常生活(野菜の皮むきや、お皿拭きや、洗濯物)などを協力してやっついていく事で仲良くいられるようです。	時には小さな喧嘩もありますが、自室に籠もり過ごされる方は一人もおらず、自分から望んでティールームで他者と過ごすことを楽しんでいるようです。耳の悪い方や認知症が重い方もいますが、職員が仲介役となり皆様の輪の中で過ごせるよう援助していますので、仲良く過ごせています。日常生活(野菜の皮むきや、お皿拭きや、洗濯物)などを協力してやっついていく事で仲良くいられるようです。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方は、ご家族を通じご本人にお手紙を出すなどし、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、独居となっているご家族に対しては、時々連絡を取りながら、悩み事など伺いフォローしています。時々、施設にも足を運んで来ています。	他施設に移られた方は、ご家族を通じご本人にお手紙を出すなどし、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、独居となっているご家族に対しては、時々連絡を取りながら、悩み事など伺いフォローしています。時々、施設にも足を運んで来ています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には、神とペンを渡して書いていただいたり、既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。	最大限に努力し、努めています。耳が聞こえない方や、自分の意思が言えない方もいらっしゃいますが、紙とペンを渡して書いていただいたり、既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。	日頃から利用者の意向を聴いたり、会話の中から意思を確認している。耳の障害がある方には筆談で意向を確認している。また、家族から本人の好きな事や興味のある事等について情報を得て生活に取り入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の普段の会話の中から出た思い出話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に経過支援記録に記載したり、職員全員で共有し、次期計画書作成時に役立つよう勤めています。自宅の庭の剪定をしたい方に職員と一緒に家に行って剪定したり、畑が好きな方には施設内の家庭菜園にて畑仕事をさせていただいたりして、その方らしい生活を大切にしています。	利用者様の普段の会話の中から出た思い出話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に経過支援記録に記載し、職員全員で共有し、次期計画書作成時に役立つよう勤めています。手帳に日記を書くことが趣味で手帳を大事にする方、東京から入居した方は東京のチョコレートや東京の新聞を生活に取り入れ、その方らしい生活を大切にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	認知症の方は日々、心身状態や有する力が違いますが、利用者様の日々の現状を把握し職員同士で共有しています。また個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。利用者様一人一人のケアプランをケアマネジャーだけでなく職員も毎日モニタリングする事で現状の把握に努めています。	認知症の方は日々、心身状態や有する力が違いますが、利用者様の日々の現状を把握し職員同士で共有しています。また、個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。利用者様一人一人のケアプランをケアマネジャーだけでなく職員も毎日モニタリングする事で現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイデアは十分に尊重して、話し合い、介護計画に反映し作成しています。また、利用者様一人一人のケアプランをケアマネジャーだけでなく、職員が毎日モニタリングする事で現状に即した介護計画を作成できていると思います。ご利用者様の状態に変化があった場合にはご家族に連絡をして介護計画を検討しています。	ご本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイデアは十分に尊重して、話し合い、介護計画に反映し作成しています。また、利用者様一人一人のケアプランをケアマネジャーだけでなく、職員が毎日モニタリングする事で現状に即した介護計画を作成できていると思います。ご利用者様の状態に変化があった場合にはご家族に連絡をして介護計画を検討しています。	入居時に本人、家族、関係者等から希望や意見を聴き取り、それを基に介護計画を作成している。1~2か月経過を見ながら本人の現状に合わない場合は計画を変更修正している。職員が介護記録に記入した内容を基にケアマネジャーが6か月毎にモニタリングしている。変更は職員会議で協議、共有し家族にも説明している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。特別注意が必要な利用者様は専用のノートを作成記入し、受診の際にも持って行っていただきます。	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。特別注意が必要な利用者様は専用のノートを作成記入し、受診の際にも持って行っていただきます。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 アルプスのなかまたち

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生じるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い取り組んでいます。例に上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具があるときは業者を呼んでご家族と繋げています。施設内での美容室の対応もしております。身寄りのない方がなくなった場合のお葬式や納骨の支援もしました。	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例に上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具があるときは、業者を呼んでご家族と繋げています。施設内での美容室の対応もしております。嚥下の方には積極的に個別支援をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族が対応できる利用者様には、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいています。難しい方に関しては、水曜日のお買い物の日や、職員が買い物に行く時を活用し昔馴染みの店などに足を運べるよう援助しています。地域のボランティアの方々によって行われる月一回のイベントが利用者様の大きな楽しみの一つになっており施設での生活を豊かにしていると思います。	ご家族が対応できる利用者様には、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいています。難しい方に関しては、水曜日のお買い物の日や、職員が買い物に行く時を活用し昔馴染みの店などに足を運べるよう援助しています。地域のボランティアの方々によって行われる月一回のイベントが利用者様の大きな楽しみの一つになっており施設での生活を豊かにしていると思います。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、確認したいことは、ご家族にお手紙を持たせたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、確認したいことは、ご家族にお手紙を持たせたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	利用者はかかりつけ医を主治医とし、家族の送迎で受診している。家族が出来ない場合は職員が対応している。希望に応じて訪問歯科を受けている方もいる。主治医、協力病院や訪問看護と連携を取り、利用者が安心して生活できる医療を提供し健康管理を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員でありますので、十分出来ていると思います。	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員でありますので、十分出来ていると思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し、病院への情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けしています。入院期間中も職員が訪問し様子を伺ったりすることで病院との情報交換をしたり、退院時にも必ず訪問し情報交換をし、施設内での過ごし方の注意点などを詳しく伺うようにしています。	入院があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し、病院への情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けしています。入院期間中も職員が訪問し様子を伺ったりすることで病院との情報交換をしたり、退院時にも必ず訪問し情報交換をし、施設内での過ごし方の注意点などを詳しく伺うようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医より疾患の予後を知り、ご本人及びご家族に施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を掘合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取りを行っている為、入居時と利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様にしています。事前に看取りの指針を説明し、同意を得る事でスムーズな対応が出来るようにしています。	主治医より疾患の予後を知り、ご本人及びご家族に施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を掘合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取りを行っている為、入居時と利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様にしています。事前に看取りの指針を説明し、同意を得る事でスムーズな対応が出来るようにしています。	入居の契約時に重度化や終末期、看取りの指針について説明し、医療面で施設での限界についても伝えていく。本人の体調により、病院や医療施設への移行について検討が必要な場合は医師、看護師、管理者等で検討会を行っている。看取りの場合も指針の説明を行い家族の同意を得て対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当て初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	介護ロボットを導入する事で、利用者様の呼吸状態や睡眠状態を把握でき、急変に対応できるようになりました。介護ロボットによって呼吸異常が早期発見でき命が助かった方も一名います。その他の急変に対しても、地域の方を交え施設にて職員全員が行った普通救命講習を復習したり、それ以降に入社した職員に対して普通救命講習への参加を行い学んでます。緊急時対応マニュアルも設けています。	介護ロボットを導入する事で、利用者様の呼吸状態や睡眠状態を把握でき、急変に対応できるようになりました。介護ロボットによって呼吸異常が早期発見でき命が助かった方も一名います。その他の急変に対しても、地域の方を交え施設にて職員全員が行った普通救命講習を復習したり、それ以降に入社した職員に対して普通救命講習への参加を行い学んでます。緊急時対応マニュアルも設けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	3月9日は毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間や夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、出火場所など想定を変え避難訓練の実技を行っています。また、トイレトベーパーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。地域の消防署にも訓練に参加していただき消化訓練の練習も全職員がしています。	3月9日は毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間や夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、出火場所など想定を変え避難訓練の実技を行っています。また、トイレトベーパーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。地域の消防署にも訓練に参加していただき消化訓練の練習も全職員がしています。	3月と9月に毎週土曜日を避難訓練の日と定めている。火災、地震、夜間想定訓練を実施し、その都度災害の形態を変えて、全職員が避難訓練を体験できるように毎週実施している。利用者も訓練を体験し避難場所まで移動している。災害時の備品や備蓄はあるが停電時の電源については検討している。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

アルプスのなかまたち

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の居室に入る際には「〇〇様、お部屋に入らせていただいても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーや自尊心を損ねないように心掛けています。またスピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては、職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	利用者様の居室に入る際には「〇〇様、お部屋に入らせていただいても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーや自尊心を損ねないように心掛けています。またスピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては、職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	特に言葉のトーンや言葉遣いに配慮している。居室ドアをノックしてから入ることやトイレや入浴への誘導時の声掛けやケアにも配慮し、利用者が気持ちよく生活できる環境づくりを心掛け、職員同士もお互いに気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティーなど、一日のうち活動は沢山ありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に生活しています。食事、就寝に関しても自己決定を大切にしながら毎日の生活をしていただけていると思います。利用者様の個々の訴えや希望を聞き、自己決定が難しい方には選択肢を出すことで自己決定が出来るような支援をしています。	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティーなど、一日のうち活動は沢山ありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に生活しています。食事、就寝に関しても自己決定を大切にしながら毎日の生活をしていただけていると思います。利用者様の個々の訴えや希望を聞き、自己決定が難しい方には選択肢を出すことで自己決定が出来るような支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合は優先しないで、先ずは利用者様のそれぞれのペースをととても大切に生活しています。利用者様方の家事やアクティビティ、体操への参加が習慣となっており、声掛けは行いますが、自主的に参加して下さっています。皆様がそれぞれのペースで、1日の活動を楽しみにしてくれて、参加しているものと思います。食事や就寝も時間にとらわれず個人のペースを大切にしております。	職員側の決まりや都合は優先しないで、先ずは利用者様のそれぞれのペースをととても大切に生活しています。利用者様方の家事やアクティビティ、体操への参加が習慣となっており、声掛けは行いますが、自主的に参加して下さっています。皆様がそれぞれのペースで、1日の活動を楽しみにしてくれて、参加しているものと思います。食事や就寝も時間にとらわれず個人のペースを大切にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢をを設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですね」などと誉める様にしてしています。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢をを設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですね」などと誉める様にしてしています。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	主食となるお米に力を入れており最上級の新米を提供しています。昼食、夕食はどんな料理を作ろうかと利用者様と相談し、調理、盛り付け、片付けまで皆様と分担して取り組んで自宅に居る様な生活を楽しんでいただいています。料理時の会話が隠し味になり更に美味しい様で「御飯が美味しい」と言われる様になりました。また、職員も利用者様と一緒に食事をとる事で家族の様な絆が作れていると思います。	主食となるお米に力を入れており最上級の新米を提供しています。昼食、夕食はどんな料理を作ろうかと利用者様と相談し、調理、盛り付け、片付けまで皆様と分担して取り組んで自宅に居る様な生活を楽しんでいただいています。料理時の会話が隠し味になり更に美味しい様で「御飯が美味しい」と言われる様になりました。また、職員も利用者様と一緒に食事をとる事で家族の様な絆が作れていると思います。	毎回食事は手作りでおり、献立はその都度利用者様と相談しながら決めています。利用者は、調理、皮むき、盛り付け、下膳、食器洗い等を職員と共に、行い、出来る事は自分の役割として取り組んでいる。季節行事や誕生会には特別メニューが楽しみとなっている。コロナ禍で外食は出来ないが、日々工夫して食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事はチェックしますが水分は、摂取に制限がある方のみチェックシートを活用します。現在しっかり食事、水分を摂ってくださる方ばかりなのであまり気にしていません。バイタルの変化にて水分を勧めることはございません。一名、糖尿病の方がいらっしゃるもので1日1500カロリーに気をつけて野菜中心の食事を提供しています。ミキサー食にも対応しています。	食事はチェックしますが水分は、摂取に制限がある方のみチェックシートを活用します。現在しっかり食事、水分を摂ってくださる方ばかりなのであまり気にしていません。バイタルの変化にて水分を勧めることはございません。一名インシュリンを打っている方がいますが、カロリーや低血糖に気を付けています。ミキサー食にも対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいています。必要な場合には、訪問歯科による口腔ケアも行っています。	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいています。必要な場合には、訪問歯科による口腔ケアも行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	失禁のタイプにもよりますが腹圧性の方に対しては、こまめに声掛けを行い対応し、日々の観察の中で排泄パターンやサインを見つけて対応しています。オムツの状態が入居した方でも時期を見て布パンツと尿取パットへトライ成功された方もいます。身体機能が低下した方の為に右側部分が広いトイレと左側部分が広いトイレがあります。また声掛けでのトイレ誘導を実践し排泄の自立にむけ支援を行っています。	失禁のタイプにもよりますが腹圧性の方に対しては、こまめに声掛けを行い対応し、日々の観察の中で排泄パターンやサインを見つけて対応しています。オムツの状態が入居した方でも時期を見て布パンツと尿取パットへトライ成功された方もいます。身体機能が低下した方の為に右側部分が広いトイレと左側部分が広いトイレがあります。また声掛けでのトイレ誘導を実践し排泄の自立にむけ支援を行っています。	介護記録に排泄の記録をして、個々の方の排泄リズムを把握している。布パンツ、リハビリパンツ、オムツの方がいるが、トイレ誘導して出来るだけトイレでの排泄を促している。職員が連携してケアしたことで、オムツから布パンツとパットに切り替えられた方もいた。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

アルプスのなかまたち

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活で、施設内菜園からの取り立ての野菜中心の食事をすることから、食から腸へのアプローチや、個人個人に残された機能を使った運動の提供、水分摂取の促しなど予防に取り組んでいます。訪問マッサージで腸の活性化を図っている方もいます。下剤を処方されている方も、腹部マッサージなどを行いながら出来るだけ自然に排出できるように支援しており、ほぼ自然便で行えています。	日常生活で、施設内菜園からの取り立ての野菜中心の食事をすることから、食から腸へのアプローチや、個人個人に残された機能を使った運動の提供、水分摂取の促しなど予防に取り組んでいます。訪問マッサージで腸の活性化を図っている方もいます。下剤を処方されている方も、腹部マッサージなどを行いながら出来るだけ自然に排出できるように支援しており、ほぼ自然便で行えています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	月・木曜日を中心に基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。長湯の方は長湯を、熱め、ぬるめなど、時間や温度も個人の希望に沿うようにしております。また個人個人が好みのソープやシャンプーを使って入浴していらっしゃるのも個々に沿っていると考えています。	火・金曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。長湯の方は長湯を、熱め、ぬるめなど、時間や温度も個人の希望に沿うようにしております。また、個人個人が好みのソープやシャンプーを使って入浴していらっしゃるのも個々の沿っていると考えています。	月・木・火・金に分かれてユニット毎に入浴し、週2回は入浴している。夏場など希望があれば曜日に関わらずシャワー浴等を促している。一人の方が30分位を目安に湯加減を調節しながらゆっくり入浴している。また、個々の好みのシャンプーやソープを使い入浴を楽しみ、同性介護の配慮もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々の希望を尊重しています。見たいテレビがある時は遅くなりますし、寝付けない時は職員が話し相手になり気持ちを落ち着けて安眠出来る様に対応します。よって支援出来ていると思います。就寝時間は個人の希望重視の為、日によって変わります。お昼寝希望の方には希望通り対応します。安眠が難しい方に対し夜間に介護ロボットを導入する事で安眠の様子が分かる様になりました	就寝時間は個々の希望を尊重しています。見たいテレビがある時は遅くなりますし、寝付けない時は職員が話し相手になり気持ちを落ち着けて安眠出来る様に対応します。よって支援出来ていると思います。就寝時間は個人の希望重視の為、日によって変わります。お昼寝希望の方には希望通り対応します。安眠が難しい方に対し夜間に介護ロボットを導入する事で安眠の様子が分かる様になりました		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	皆様、同じ事を行うことを好まれてますが、個々の能力から何かの役割を持っていただき張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に援助しています。体操やアクティビティ、散歩などの提供を始め、嗜好品を食べながら趣味だったハーモニカを吹いたり、歌を歌ったり、脳トレや塗り絵や作品作りをしたり、積極性や笑顔が沢山見られています。利用者様が好きな時にお茶が飲めるようテイルームに用意しています。	皆様、同じ事を行うことを好まれてますが、個々の能力から何かの役割を持っていただき張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に援助しています。体操やアクティビティ、散歩などの提供を始め、嗜好品を食べながら趣味だったハーモニカを吹いたり、歌を歌ったり、脳トレや塗り絵や作品作りをしたり、積極性や笑顔が沢山見られています。利用者様が好きな時にお茶が飲めるようテイルームに用意しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ流行以前は、日用品が切れた時、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物外出の援助を行っていました。希望があれば、お菓子屋に寄って食べてくる事もありました。ご家族の協力のもと、定期的に外食へ連れて行ってもらっている方もいます。コロナ流行中でも密を避け、夏は暑すぎない日を冬は寒すぎない日を見計らって散歩など気分転換をしていただいています。コロナの流行が収束し次第、買い物や外出を再開したいと思います。	コロナ流行以前は、日用品が切れた時、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物外出の援助を行っていました。希望があれば、お菓子屋に寄って食べてくる事もありました。ご家族の協力のもと、定期的に外食へ連れて行ってもらっている方もいます。コロナ流行中でも密を避け、夏は暑すぎない日を冬は寒すぎない日を見計らって散歩など気分転換をしていただいています。コロナの流行が収束し次第、買い物や外出を再開したいと思います。	家族との外出や買い物での外出の機会が多く、地域住民の方との交流もあったが、現在はコロナ禍で外出は自粛している。事業所周辺の散歩やお菓子屋での買い物等を行い利用者の気分転換になるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理でお金を持たれている方も一名称いっていますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理してお金を預かるよう頼まれています。コロナ流行以前は毎週水曜日の買い物の日に希望する利用者様はお買い物に出していました。コロナ流行後は欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた時には職員が随時対応したり、訪問販売の方(パン屋さん)が来た際に買い物しています。	自己管理でお金を持たれている方も一名称いっていますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理してお金を預かるよう頼まれています。コロナ流行以前は毎週水曜日の買い物の日に希望する利用者様はお買い物に出していました。コロナ流行後は欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた時には職員が随時対応したり、訪問販売の方(パン屋さん)などが来た際に買い物しています。		
51		○電話や手紙の支援 希望者に電話の使用など援助しています。手紙は未だ家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者に電話の使用など援助しています。手紙は未だ希望がありませんが、今後、希望があれば協力支援致します。コロナ流行で面会禁止になった際には電話をかけご家族と話したり、窓越しの面会に電話を利用し話をしたり、ご家族様もご利用者様も寂しくならないように支援しました。できる限りご家族にご本人の気持ちが伝わるように支援しています。携帯を持っている方は自由に話をしています。	希望者に電話の使用など援助しています。手紙は未だ希望がありませんが、今後、希望があれば協力支援致します。コロナ流行で面会禁止になった際には電話をかけご家族と話したり、窓越しの面会に電話を利用し話をしたり、ご家族様もご利用者様も寂しくならないように支援しました。できる限りご家族にご本人の気持ちが伝わるように支援しています。携帯を持っている方は自由に話をしています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

アルプスのなかまたち

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価		
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々として常に清潔にしています。昼間は音楽を流し心地よい空間を作り、壁には利用者様が作った作品を飾って暖かい雰囲気作りをしています。浴室も明るく温泉の様な雰囲気です。また、廊下で一休み出来る様に畳のベンチを3個置いて居心地良い空間を作っています。お部屋やダイニングの窓から見える屋敷神様の祠や、家庭菜園や、お花も趣や季節感を感じさせてくれます。	天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々として常に清潔にしています。昼間は音楽を流し心地よい空間を作り、壁には利用者様が作った作品を飾って暖かい雰囲気作りをしています。浴室も明るく温泉の様な雰囲気です。また、廊下で一休み出来る様に畳のベンチを3個置いて居心地良い空間を作っています。お部屋やダイニングの窓から見える屋敷神様の祠や、家庭菜園や、お花も趣や季節感を感じさせてくれます。	天窓があり明るく、清潔に整理されて広々としたフロアに癒しの音楽が流れ、心地よい空間を作っている。利用者が作った作品を飾り、廊下には畳のベンチを置いて誰もが休める場所として、利用者や来訪者に喜ばれている。窓からは屋敷神様の祠や家庭菜園、花等が見え、家庭的な雰囲気や季節を感じることができる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話したり、廊下の畳のベンチで話したり、ダイニングのマッサージ機でマッサージをしたり、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。ダイニングの席の配置に気を遣い、気の合った利用者様同士での席の配置を心掛け、利用者様同士でのトラブル発生時には臨時的な席替えもしています。	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話したり、廊下の畳のベンチで話したり、ダイニングのマッサージ機でマッサージをしたり、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。ダイニングの席の配置に気を遣い、気の合った利用者様同士での席の配置を心掛け、利用者様同士でのトラブル発生時には臨時的な席替えもしています。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、亡くなったご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真や飾り、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に入居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、亡くなったご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真や飾り、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に入居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	居室にはベッド、カーテン、タンス、エアコン、椅子とテーブルが備付けてある。ベッドは停電時には手動に変えられる仕様になっている。利用者の好みの寝具、思い出の写真、電化製品等自宅で使用していた品を持ち込んで安心できる場所になっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	少しでも出来るのにやっていた事、また、出来るのにやる機会に恵まれていなかった事に目を向け自立できることを増やせるよう援助しています。少しでも出来ない事は支援し、少しでも出来る事になる様に、必要な方には建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。手摺りや畳のベンチなどを使い自分で歩けるように、疲れたら休めるベンチと手摺りの配置をしています。デッキのベンチに座ることで利用者様が一人でも外出気分を味わえるようにしています。	少しでも出来るのにやっていた事、また、出来るのにやる機会に恵まれていなかった事に目を向け自立できることを増やせるよう援助しています。少しでも出来ない事は支援し、少しでも出来る事になる様に、必要な方には建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。手摺りや畳のベンチなどを使い自分で歩けるように、疲れたら休めるベンチと手摺りの配置をしています。デッキのベンチに座ることで利用者様が一人でも外出気分を味わえるようにしています。			